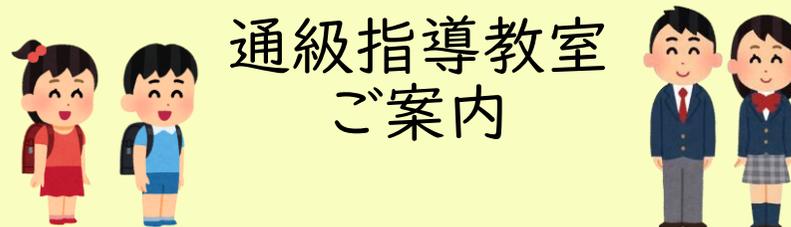


通級指導教室を利用するには、 どうしたらいいの？

- ① 「通級指導教室を利用したい」や「通級指導教室について詳しく聞いてみたい」場合は、在籍校の学級担任等へご相談ください。
(学校へ通級指導教室を利用したい旨の意志表明を行ってください。)
- ② 保護者から相談を受けた内容をもとに通級の必要性を在籍校で検討します。
- ③ 通級による指導が必要ではないかと校内で判断した場合には、学校から稚内市教育委員会へ必要書類を提出します。
- ④ 専門家等による判定会議を経て、稚内市教育委員会から学校へ結果を通知します。
- ⑤ 稚内市教育委員会からの通知を学校から保護者へお知らせするとともに今後の支援の方向性を共通理解します。

稚内市立の小中学校に通う子どものための



通級指導教室 ご案内

通級による指導とは、通常の学級に在籍し、大部分の授業は、通常の学級で受けながら、一部、「通級指導教室」という特別な場で、子ども一人ひとりの困難さに応じた指導を受けられるものです。

例えば、 こんなことで困っていませんか？

- ・あちこちに注意がいきってしまい、集中できない。
- ・お友達とトラブルになりやすい。
- ・思ったことをすぐ口に出してしまう。
- ・予定を変更されるのが苦手。
- ・話の聞きもちが多い。
- ・漢字の読み書きや計算など、特定の学習のみ極端に苦手
- ・ノートをうまく書くことができない。または、書きたがらない。

そんな時は、お子さんが通われている学校や稚内市教育委員会にお気軽にご相談ください。

どういう学習をするの？

それぞれの生徒の困り感に応じて、その改善や克服を目指し、学級を離れて週1～数コマ、個別の指導を行います。

教科の遅れを補充する指導ではなく、一人ひとりに合わせた学習を行います。

例えば・・・

<学習>

- 全ての学習の土台となる、見る力・聞く力・集中力・記憶力を伸ばす取り組みを少しずつ積み重ねます。
- 困っていることに応じた課題に取り組みます。
- 「できた！」という経験を積み重ね、学習に対する自信と意欲を高めます。

教科の学習をそのままやるのではなく、その子がどこで躓いているのかをアセスメントを行い、その躓き・困り感に合わせた学習内容を実施していきます。

その際学級のやり方にとらわれず、その児童生徒に合った学習方法を見つけ出し、実施し、習得できるように支援していきます。



<コミュニケーション>

- 人とのコミュニケーションを図る練習をします。
- ルールを守ることを学びます。
- 協力するよさや大切さを味わいます。
- 負けや失敗を受け入れることを練習します。
- 物づくりなど、集中して取り組む経験から達成感を味わいます。また、説明を見たり、聞いたりして手順を理解し、順序立てて物事に取り組む経験を積みます。



例えば、自分の「できることやできないこと」「得意なことや苦手なこと」を自己理解し、行動を振り返ったり、正しい方法を一緒に考えたりします。また、どんな力をつけたいのかを意識しながら、様々な活動を楽しみながら行うことで、前向きな気持ちで学べるような工夫をしています。